

### 第3回県立野市総合公園再整備方針検討委員会 議事要旨

#### ○委員の主な意見

##### 1. 野市総合公園再整備方針（案）に関する意見

- ・ 複数混合展示では、今の見せ方を踏襲しつつ、群れで過ごす動物については群れを成すように育成することで、社会性も含めた展示を目指していただきたい。
- ・ 個体を紹介して、来園者が個体識別して観察することが出来れば、より各個体の特徴や行動特性の理解が深まり、満足度が上がると思う。
- ・ 来園者の近くに遊具やエサ場、環境的に居心地の良い場所を設けるような取組を引き続き実施することで満足度につながる。利便施設についてはトイレが重要となる。
- ・ 飼料代は、飼育点数から見て高くない。動物生育、健康、福祉の観点から、しっかりと予算を確保する必要があり、削減はなじまない。
- ・ 寄付金については、必要性を伝えやすい「施設整備の推進」を目的とすることが最も有効である。集まった寄付金で施設整備の推進に必要となる人件費にも充てていくことが重要である。
- ・ J A Z Aの適正施設ガイドラインは最低基準である。バックヤード等の整備ではこれ以上を目指してほしい。
- ・ 世界動物園水族館協会が公表した地球温暖化対策にかかる内容を取り入れ、PRしていけば先進的に進められていることが伝わる。
- ・ 高知県らしい教育プログラムを検討いただきたい。副園長から小学校2年生の国語の教科書にビーバーについて勉強する機会がある話もあったが、このような内容を反映することによって高知県特有の教育プログラムになると考える。
- ・ 公園区域の縮小については、老朽化や施設の新整備などに資本を集中投資し、高質化するためなどの理由を記載すること。
- ・ のいち動物公園の植物は大きな売りのひとつ。しっかりと環境に調和した展示を目指したことがわかるような見せ方が必要。
- ・ 「インクルーシブ」とはユニバーサルデザインの上位概念であり、遊具だけでなく施設全体に関わることであり修正が必要。